

【今年度の結果と取組みについて】

○●国語●○

(領域ごと)

- | | |
|------------------|-------------|
| ①言葉の特徴や使い方に関する事項 | 大変良好な結果であった |
| ②我が国の言語文化に関する事項 | 良好な結果であった |
| ③A話すこと・聞くこと | 大変良好な結果であった |
| ④B書くこと | 概ね良好な結果であった |
| ⑤C読むこと | 良好な結果であった |

(問題形式)

- | | |
|------|-------------|
| ①選択式 | 良好な結果であった |
| ②短答式 | 大変良好な結果であった |
| ③記述式 | 良好な結果であった |

(無解答率)

概ね良好な結果であった

(その他)

- ・全国より正答率が高かった問題…話し言葉と書き言葉との違いを理解する問題
- ・全国より正答率が低かった問題…文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整える問題
- ・全国より無回答率が高かった問題…人物像や物語の全体像を具体的に想像する問題

分析

<成果>

- ・知識技能が高い→日々の学習・家庭学習や、UDを取り入れた授業づくりの成果
- ・図書の取り組みが多く、読書の習慣がついている。
- ・漢字の正答率が高い。→キーワード作文の成果

<課題>

・思考・判断・表現の「書くこと」が低い。伝えたいことを順序立てて書くことに課題がみられる。

⇒文章の構成、組み立て方の基本を押さえ、意識して書く練習が必要。

⇒作文の習慣をつける。

⇒自分の考えを書く練習。

- ・文を構成することに苦手意識をもっていると考えられる(3一より)。

⇒思考ツールを使って、文章を作って書く練習をする。

⇒文章を書く型のバリエーションを学習する。(同じ思考ツールでも、違う文章の型で書く、など)

- ・問われていることを理解し、必要な情報を選択していく力が必要。

○●算数●○

(領域ごと)

- | | |
|----------|-------------|
| ①A数と計算 | 概ね良好な結果であった |
| ②B図形 | 良好な結果であった |
| ③C変化と関係 | 良好な結果であった |
| ④Dデータの活用 | 良好な結果であった |

(問題形式)

- | | |
|------|-------------|
| ①選択式 | 良好な結果であった |
| ②短答式 | 概ね良好な結果であった |
| ③記述式 | 大変良好な結果であった |

(無解答率)

概ね良好な結果であった

(その他)

- ・全国より正答率が高かった問題…分類整理されたデータを基に、目的に応じてデータの特徴を捉え考察する問題
- ・全国より正答率が低かった問題…被乗数に空位のある整数の乗法の計算をする問題
- ・全国より無回答率が高かった問題…図形を構成する要素に着目して、長方形の意味や性質、構成の仕方について考える問題

分析

<成果>

- ・基本的な知識は身につけている。⇒日々の学習・家庭学習の取り組みの成果。
- ・プログラミングの正答率が高い。⇒5年生の時にタブレットを使用しており、関心を持って学習できたことが成果につながった。

<課題>

- ・単元が終わってからの復習や活用の場が少なく、定着しきれていない部分もある。
⇒小問練習を繰り返し、定着を図る必要がある。
- ・問題文の読解力不足。また、活用問題の経験が少ない。
⇒長い問題は、読む前からあきらめてしまったり、わからないところで止まったりしている可能性が考えられる。
⇒大切なところを抜き出す練習が必要。
⇒時間配分を考えて解く習慣をつける。
- ・問題文から具体的なイメージを持つことができていない(2(3))。
⇒具体物を使った授業をしていく必要がある。

○●理科●○

(領域ごと)

- | | |
|--------|-------------|
| ①エネルギー | 良好な結果であった |
| ②粒子 | 概ね良好な結果であった |
| ③生命 | 概ね良好な結果であった |
| ④地球 | 概ね良好な結果であった |

(問題形式)

- | | |
|------|-------------|
| ①選択式 | 良好な結果であった |
| ②短答式 | 概ね良好な結果であった |
| ③記述式 | 良好な結果であった |

(無解答率) 概ね良好な結果であった

(その他)

- ・全国より正答率が高かった問題…自分で発想した予想と、実験の結果を基に、問題に対するまとめを検討して、改善し、自分の考えをもつ問題
- ・全国より正答率が低かった問題…水は水蒸気になって空気中に含まれていることを理解しているかを問う問題
- ・国語、算数よりも、全体的に無回答率が高い。

分析

<成果>

- ・キーワード作文に取り組んだ成果が見られる。(3(4))。
 - ・問題に対して必要な結果(用具の使い方など)は理解している。
 - ・昨年度専科による授業が行われ、専門性の高い学習活動が実施できた。
- ⇒データとして残し、活用することで、本校の研究成果として残すことができる。

<課題>

- ・問題を解くための時間配分ができる力を育む必要がある。
 - ・文章理解力の課題。情報量が多いと、整理しきれなくなる。
- ⇒問われていることを理解し、必要な情報を選択していく力が必要である。
- ・なぜその結果になったのか、予想したり課題を見つけたりする力に課題がみられる。
 - ・生活体験と結び付けて考える力が不足している。
 - ・家庭学習等で定着を図る。
 - ・国語の表現力とつながって、理由を答える問題に課題が見られる。

○●経年比較●○

全体的な傾向についての分析

- ・読解力がどの教科においても課題になっている。
- ・国語は研究を始めて3年目のため、国語における分野で成果が出てきた。
- ・キーワード作文に取り組んだ成果が出ている。
(全教科、記述式問題)
- ・算数は家庭学習の取り組みもあり、読み取りが多い国語より正答率が高い傾向がある。

学力高位層と学力低位層、エンパワー層 についての分析

- ・エンパワー層は近年停滞し、高位層はやや低下している。
- ・コロナ禍ということもあり、学習活動に制限がかかっているのも、子どもの関心意欲を高めにくい状況もある。子どもたちが意欲をもって取り組むことのできる課題設定を、試行錯誤していくことが大切。

○●取組み●○

学力向上に関する取組み

- ・引き続き、「キーワード作文」(指示を逃さずに記述する力)、「小問」(計算力の向上)、「思考ツール」(思考を順序だてて組み立てる力、文章を書く力)に取り組んでいく。

「キーワード作文」(指示に従って記述する力)

…指定した言葉を使って、文章を書く取り組み。(授業最後の振り返りや、日直がワードを決めて毎日取り組むなど。)

(例:「長さ」「同じ」という言葉を使って、まとめを書きましょう。)

(例:今日のキーワードは「走る」です。連絡帳の最後に一文書きましょう。)

「小問」(基礎知識、計算力を身につける)

…「今学習している単元」ではなく、「前に学習した単元の復習」として問題を作る。算数の問題を1, 2問解く。朝の時間や算数導入の時間、日直が1問出す、など、実施方法は様々。

(例:「2桁のわり算」に入る前に、「1桁のわり算」の問題をする。)

「思考ツール」思考を順序だてて組み立てる力、文章を書く力

…比較する、分類する、など、思考を整理するためのツールを活用する。2年前より、学校全体で取り組んでいる。ツールを使って整理したあと、自分の考えを文章にしている。全学年同じテーマで取り組み、毎月玄関前に掲示している。

(例:PMI ツール「運動会での、自分のことを評価しよう」)

(例:ベン図「わにときゅうりを比較しよう」)

- ・日直のスピーチなどを取り入れる、話し合い活動、話し方のモデルを示す、などして、文章の組み立て方を身に着ける。
- ・校内ハンドブックの再確認。
- ・学習指導要領を参考にし、教材研究を行う。授業内容を学年で共有する。授業規律、授業展開の統一、共有。
- ・授業の中で、自分の考えを持ち伝える場面を増やす。
- ・表、図、資料を活用し、自分の言葉で伝える言語活動を活かし、「わかったことを明確に伝える」、「わからないことを具体的に伝える」ことができる場面を増やしていく。
- ・自分の考えを持ちにくい児童への対応→自分の考えがもてるように、ペアで考える時間をとるなどして、思考を整理する。